



全大教

全国大学高専教職員組合 発行所
Faculty and Staff Union of Japanese Universities
毎月1回10日発行 (1部30円) 組合員の購読料は組合費に含まれています

第294号 2013年12月10日

全大教のホームページ <http://www.zendaikyo.or.jp>

◆全大教の紹介
◆大学・高等教育に関する情報など

◇情報の提供やお問い合わせは全大教情報宣伝部まで
Eメール <josen@zendaikyo.or.jp>

〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目1番7号 MSKビル7階
TEL 03 (3844) 1671/FAX 03 (3844) 1672

＜全大教中央執行委員会が声明を発表＞

声明のDLはこちらから ↓

<http://goo.gl/Ug3htG>

「ミッションの再定義」による 文部科学省の大学自治への介入に抗議！

全大教中央執行委員会は、10月30日に声明「ミッションの再定義」による文部科学省の大学自治への介入に抗議します」を発表しました。内容を要約してお伝えします。各組合、大学等でこの問題を改めて考え、「ミッションの再定義」の名の下に行われようとしている、大学自治への介入に反対し、自主的な改革への支援を求めていきたいと思います。

2012年6月に文部科学省が発表した「大学改革実行プラン」の中に位置づけられていた「ミッションの再定義」は、先行する教員養成と医学、工学の3分野の作業が終了し、その概要が「国立大学改革プラン」(11月26日)に含まれました。

当初、「国立大学が自主的・自律的に自らの機能の再構築により機能強化を図る」とされ、ていましたが、特に教員養成分野において、文部科学省が求める「項目立て」と「数値目標」を強制的に書き入れさせるといふ介入を行ってききました。全国の教育学部へ教職大学院を一律に設置させるという強制や各大学の自主性を無視し、「強み」や「特色」「社会的役割」を踏まえな改革や数値目標の強制は、国民への不利益を招きかねない事態になると考えられます。法定手続きを経ることなく行政の判断のみで事を進める文部科学省に、大学自治および大学の自主性・自律性を尊重する姿勢を強く求めます。

運営費交付金、補助金を 通した誘導の強化すすむ

2013年3月1日に文部科学省が発表した「国立大学改革強化推進補助金」(2012年度)の選定結果では、国際的な競争が激化する中で、大学の枠

を超えた連携の推進や個性・特色の明確化等を通じた国立大学の改革を推進するとしています。なかでも秋田大学では、「国際的資源の世界

また、京都大学では、「グローバル化に対応した教学マネジメントの組織改革」の一環として、国際高等教育院の設置が進められています。そこにはいくつもの重大な問題を含んでいます。これまで行われてきた教養教育改革の議論とは関係なしに、教養教育とグローバル化を推進する「教

育院」の設置が突然に提案され、従来教養教育を担ってきた部局の教授会の反対を押し切って設置が決定されたこと、また、新規に外国人教員100人を採用するとしており、そのための文科省からの補助金による人件費支給は一年目だけで、二年目以降は各部局の定員ポストを供出させて雇用継続するとしていること、さらに、社会的な要請に対応すると

福井大学 11月11日(月)



福井大学
未払い賃金等請求訴訟

11月11日(月)、福井大学教職員組合員である「未払い賃金等請求訴訟団」(13人)は福井地方裁判所に提訴致しました。11時に提訴した後、11時15分から12時まで弁護士会館で記者会見を行ない、報道機関8社が取材にきました。

未払い賃金請求訴訟を提訴 -大学の自治や学問の自由を掲げた闘いでもある

原敏博氏(同教授)による闘いの経過報告、3弁護士団長の島田広弁護士による訴状説明、4全大教の中嶋哲彦氏(中央執行委員長)と長山泰秀氏(書記長)による全国の闘いの現状についての報告、が約30分程度行なわれました。その後記者からの質問としては、1提訴主体は組合なのか、原告団なのか(回答は原告団)、2附属教員の下げ率を踏まえると下げ率は4・35%からか(回答はその通り)、3請求額の合計数値は(回答は13・142・808円)、4大学当局との団体交渉は妥結したのかどうか(回答は妥結せず一方的な賃下げの強行)、5原告団13人の職種について(回答は教授7、准教授3、特命教授1、助教1、教諭1)以上でした。

最後に海道宏実弁護士から、今回の訴訟は未払い賃金を取り戻すという経済的な要求だけではなく、大学の自治や学問の自由を掲げた闘いでもあるということが強調されました。

(原告団長 森透)



今月の紙面

- ◆ 単組からのレポート
・神戸大学「各支部関係団体と連携し職場環境の改善を」
・鳥羽高専「組合員の力を集結して閉塞感を払拭したい」
◆ わたしもひとこと
- 2面 ◆ 未払い賃金請求訴訟単組交流会
◆ 高専単組代表者会議を開催
◆ 〈続報〉秋冬期の地区別単組代表者会議
- 3面 ◆ 論壇「三権分立が危ない!?!」
顧問弁護士 早田由布子氏
◆ ひとシリーズ
首都大学東京 古藤陽子氏
◆ Activity 非常勤職員専門委員会
京都大学 末益洋子氏
- 4面